

# 荘内銀行 「荘銀かねやま絆の森」 平成25年度の活動

協定者：山形県・有限会社 三英クラフト・荘内銀行、協定期間：平成22年4月1日～平成27年3月31日、所在地：最上郡金山町 猪の沢地区 49.65ha

## 荘銀かねやま絆の森 2013春

(山形大学農学部の教職員・学生が参加してくれました)

開催日：平成25年5月25日(土)

参加人数：52名

内容：下刈り/まち歩き/学習会/ワークショップ



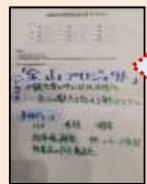
↑ まち歩き(街並み学習)の様子

講師：藤科 智海 先生 (山形大学農学部准教授)  
6次産業化について、事例を交えてご講演いただきました。また、金山町役場さんからは町の現状と課題についてお話しいただきました。



↑ 地域活性化学習会の様子

↓ 学習会の講義を受けて、ワークショップを開催!!



様々なプランが出てきます



作業地は川の源流となるスギ林。6年生のスギの下の下刈りです!  
作業は銀行・大学の混合グループを編成して取り組みました。



平成26年には金山町で第38回全国育樹祭が開催されます!!

テーマは「私たちが考える金山町の地域活性化策」。役職員・行政・大学職員・学生の混合グループで取り組みます

## トピックス

「荘銀かねやま絆の森」の森づくりに加え、未来を担う子どもたちの環境への興味・関心を高める活動も行っています!!

やまがた森の感謝祭 (寒河江市いこいの村)



松ぼっくりと紙コップを使った「けん玉」づくりに挑戦



作り方を指導するスタッフも大忙しです!!



当行の森づくりも紹介!!



完成した作品と記念写真!!

全国育樹祭イベント(金山町遊学の森)



荘内銀行×三英クラフトさん×山形ゼロックスさんとの共同出展



三英クラフトさんからご提供を受けた間伐材を使ったストラップづくり



ペーパークラフトもプレゼント!!



ステキな作品ができました!!

こんな活動もしています



山形社会貢献基金への寄付による森づくりの支援



霞城セントラルでの金山町物産展の開



県内の緑の少年団が一同に会する交流大会へのスタッフ派遣

## 荘銀かねやま絆の森 2013秋 × 第12回山形ゼロックスかねやま絆の森

(やまがた絆の森に取り組む企業同士による山形県内初の合同企画)

開催日：平成25年10月5日(土)

参加人数：92名(当行含め企業6社の役職員・家族が参加)

内容：裾枝打ち/自然観察/うどん打ち体験/下刈り ほか

午前中は参加者が3つのグループに分かれて活動しました

《森づくりグループ：荘銀かねやま絆の森で裾枝打ちと収穫体験》



12年生の金山スギの裾枝を刈り、木の生育を促していきます!!

約10kgの舞茸!!

《自然観察グループ：フナ林の散策と山形ゼロックスさんの森で下刈り体験》



ネイチャーゲームをしながらフナ林を散策!! + さらに下刈り体験をします!!

《うどん打ち体験グループ：うどん打ちと山形ゼロックスさんの森で下刈り体験》



親子や夫婦でうどん打ちを体験!! + さらに下刈り体験をします!!

午後は3グループが一緒に交流会と木工クラフトに取り組みました

《交流会：味噌・醤油仕立ての芋煮をいただき、企業の森づくりの取り組みを拝聴》



林業パートナーの三英クラフトさんのキノコや自分たちで打った「うどん」が入った芋煮は美味です!!

《木工クラフト体験：フォトフレームづくりに取り組みました》



思い思いのデザインで木の実を選びながらステキなフォトフレームが完成!!

大学や企業と連携・合同した取り組みは、参加者同士のコミュニケーション活性化を促していくことで、本業たるビジネス分野などでも相談・協働できるようになっていくほか、お互いの持つ個性やノウハウを活かした地域課題の解決や地域経済の活性化を図っていく仕組みづくりに進化する可能性もあります。また、企業が継続した森づくりを行う手段・方法として今後に関わる勉強と実行していく自信にも繋がりました。

今年度の活動を振り返っての感想